

6. 山田荘小学校お宝マップ

小学生ワークショップ 山田荘小学校 地域のお宝マップづくり

● 事業概要

第6次総合計画の策定にあたり、次代を担う子どもたちの意見を聴くため、京都府立大学京都地域未来創造センターの支援のもと、山田荘小学校4年生(45名)を対象に、11月の「総合的な学習の時間」(計6回)を利用して、タブレット端末を活用した「まちあるき」と「地域情報の編集・発信」を行うワークショップを行いました。

まちあるきの事前・事後学習では、京都府立大学京都地域未来創造センターの教職員が「地図の見方を知ろう」「お宝さがしのヒント」「タブレット端末でデジタル地図を作ろう」をテーマにした授業を行いました。

また、まちあるき当日は、児童が8グループに分かれて山田・乾谷・柘榴・桜が丘地区を歩いてまちのお宝を発見し、その後の授業で、タブレット端末を使ってお宝マップを完成させました。

子どもたちが選んだお宝と解説文はユニークな発想や目線のものも多く、地域の新たな魅力を発見することができました。



ワークショップ風景



まちあるきの様子



タブレット端末でのデジタルマップ作成



イラストマップ

発行元：京都府立大学京都地域未来創造センター
イラスト：多田昭彦／無断転載禁止

【詳細】

● お宝マップづくり授業の構成（計6回）

	日時	テーマ	ねらい・内容
①	11/16 (火) 2限 体育館	いろいろな地図（マップ） を見てみよう	・ 地図の見方を理解する
②	11/22 (月) 2限 各クラス	タブレット端末(iPad) を使ってみよう	お宝マップを作る準備をする 1)個人タブレット端末で Stroly にアクセスする 2) お宝の探し方 (地域の歩き方)を学ぶ
③	11/24 (水) 2-3限 地域	まちあるきをしてお宝を見つけよう 大人になっても「あったらいい」 お宝はどのお宝だろう	・ いつもと違う視点で地域を見る ・ 自身の「アンテナ」を大切に する
④			
⑤	11/30 (火) 3-4限 各クラス	みんなで、 地域のお宝マップ をつくろう	・ お宝をどのように紹介するか グループで考える ・ 各人タブレット端末を使っ て、Stroly「お宝マップ」に アクセスする
⑥			

● 「お宝マップ（デジタルマップ）」概要

デジタルマップは、(株)Strolyが提供する位置情報（GPS）と連動したイラスト地図のプラットフォーム Strolyを活用。

URL : <https://viewer.stroly.com/1634781401/?room=stroly>



iPhone(スマートフォン)から Stroly にアクセスした場合

※スマートフォンの機種やOS、ブラウザによって、見え方が異なることがある。

